

■（１５）受験生と同じく記者も冬休みが勝負！

いよいよ冬休みです。クリスマスに正月と子どもたちはうきうき。先生たちも２学期の通知表を渡し終えて一息ついたことでしょう。ただ、受験を控えた小学６年生や中学・高校の３年生は例外です。本番前の追い込みとなる勝負の冬休みを迎えています。

新聞記者も同じ心境で、その試験は「元日の新聞」です。別刷り特集付きで普段の数倍もある特別な日。その記念すべき新聞の１面トップに渾身の特ダネを載せたいというのが記者の共通の思いです。翌２日が「夕刊のない休刊日」という事情も重要なカギです。

休刊日は朝刊を発行しない日で、年に約１０日。仮に休刊日前日の朝刊で他社に特ダネを書かれたら…。読者に伝えるべき話ならば素早く追っかけ（＝後追い取材）て、記事にしなければなりません。でも翌日の朝刊はありません。正月に限れば２日夕刊も休みなので、結局、記事を書けるのが３日付朝刊になります。元日朝から追っかけて、悔しい思いを丸２日も引きずるのです。逆に特ダネを書いた方は実に気持ちの良い正月になります。

この競争心も特ダネの原動力です。さて、２０１１年元日はどの社が「合格」か（山）